

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年2月10日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

北海道と切実な願いについて、各団体が要請・懇談

2014年度の道予算について、各団体が、北海道に対して、切実な要求をまとめ、交渉しています。

安心してらせる北海道に！ 署名も提出

国民大運動北海道実行委員会



1月31日、「軍事費を削って暮らしと福祉・教育を」国民大運動北海道実行委員会は、北海道に対して、2014年度の道予算への要望について交渉しました。全道から集まった署名も提出しました（写真）。

交渉は、事前に提出し要望書への回答された項目から、雇用対策、原発・エネルギー、中小企業、TPP・農業、防災・学校耐震化、教育、国保料・生活保護、介護・保育問題などに絞って行われました。

高すぎる国保料については、「加入者の平均所得の減（札幌市では10年前より100万円減）と一人当たりの保険料の値上げで、加入者の負担割合が増え、それが滞納の要因になっている。道として保険料の軽減を」と求めました。

道の担当者：一人当保険料の市町村平均額 2004年 81746円→2012年 92580円。

北海道生活と健康を守る会

生活保護申請書の窓口設置は札幌市を除く全市に

2月6日、道生連は、北海道と、国保、道営住宅、貸付金、生活保護問題で、交渉しました。

国保では、「1カ月の短期証を発行している自治体が44もある。中には、留め置きさせ、事実上、無保険状態が危惧される」と、改善を求めました。

生活保護利用者の過去の国保滞納分の徴収問題では、「道も通知をだした。今は釧路市だけ。2013年4月から11月で180件58万円徴収している」と回答。改善させるよう要請しました。長年要望してきた生活保護申請書の窓口設置については、「全市で設置している（札幌市を除いて）」と回答しました。



全ての人に、人間らしい生活の保障を

障害者の生活と権利を守る道連絡会



2月7日、障道協は、北海道と、精神障害者の公共交通機関の運賃割引、医療費助成、所得保障、65歳からの介護保険への移行、障害者駐車場などについて交渉しました。

精神障害者の公共交通機関の運賃割引について、参加者から「地方から札幌の医療機関に通院するには、運賃など負担が大きい」などの例も紹介し訴えました。

道の担当者は「道としても働きかけているが、道内48バス事業者のうち、24事業者に増えている」と回答。精神障害者の交通費助成や医療費助成について、道は「要望はよくわかるが、道としては予算がない」との回答に対して、参加者から「3障害一元化と言われているのに、精神障害者が助成の対象になっていないのは差別されているように感じる」と改善を求めました。また、最低賃金以下で安い賃金や、65歳になると介護保険が優先されて負担が増えることなどについても改善を求めました。

